

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

みどりの

Midori no Tohoku

東北

No.231

令和5年 2023.6

林野庁 東北森林管理局

Tohoku National Forest Regional Office



全国でも珍しい特異な形をした天然杉「山ノ内スギ」が群生する国有林があり、静寂と奇形木が織りなす光景は「幻想の森」と呼ばれています。

最上峡 幻想の森（山形県・戸沢村）[提供：山形森林管理署最上支署]

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

きみまち杉の大きさを体感

秋田

米代西部森林管理署

当署管内には、世界自然遺産の白神山地の自然を間近に楽しめる「岳岱^{だけだ}自然観察教育林」をはじめ、日本五大松原にも数えられ潮風や飛砂の被害などから地域を守る「風の松原」などがあります。さらに、樹高日本一の天然秋田スギ「きみまち杉」（樹高58m、胸高直径164cm）で有名な「仁鮎水沢スギ植物群落保護林^{にぶなみずさわ}」があり、今回はこの保護林での取組をご紹介します。

昨年9月、地元能代市二ツ井小学校3年生23名が森林教室のために保護林を訪れました。はじめに天然林と人工林の違いを感じてもらうため、保護林に隣接する秋田スギ人工林を、その後、保護林の中に進みいくつもの50mを超える天然秋



樹高日本一のきみまち杉の前で

田スギを見学してもらいました。途中では、輪尺・直径巻尺（直径を測る器具）を使用して、測樹体験をしました。「きみまち杉」では、真下から先端

を眺め、大きさ・高さを実感しながら記念撮影をしました。生徒からは「きみまち杉の名前の由来は？」「きみまち杉は何歳？」「どのくらいの重さ？」など質問され、職員の答えに生徒たちは大きくうなずいておりました。

当署では、能代市や井川町においても森林教室を実施しており、今年度も学校等からの要望をお聞きしながら、森林環境教育に取り組んで行くこととしています。

市民憩いの場・潮害防備保安林の再生

宮城

宮城北部森林管理署

東松島市大曲地区にある潮害防備保安林は、津波や高潮の勢いを弱め、住宅などへの被害を防ぎ、海岸からの塩分を含んだ風を弱め塩害を防ぐ等、保安林としての機能を発揮してきました。また、潮害防備保安林には、クロマツやハマナス（宮城県レッドデータブックに掲載されている希少海浜植物）等の海浜植物が生育していました。

ところが、平成23年3月11日の東日本大震災で発生した津波により多大な被害を受け、海浜植物はほぼ消失し、倒木や流失の被害を免れたクロマツも、海水を被った影響から塩害による立ち枯れが徐々に進み、最終的にはほとんどが枯死しました。



津波を耐え、花を咲かせたハマナス

潮害防備保安林の再生は盛土を伴うクロマツの植栽を早急に行う必要がありましたが、事業地内で確認された希少な動植物については、可能な限り保護を行うこととしました。ミサゴなどの猛禽^{もうきん}類^{るい}に対しては、営巣木及び周辺のクロマツを保存するため、盛土を行わずクロマツを保護する対策を行い、希少植物の群生箇所では、盛土を行わず生育環境を変化させないように保護しました。東日本大震災を耐え抜き、花を咲かせたハマナスやクロマツが織りなす美しい景観に憩いを求めているかがでしょうか。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

ナラ枯れ被害対策～青森県庁とともに～

青森

津軽森林管理署

皆さんは「ナラ枯れ」をご存知ですか？ナラ枯れは、カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」と略）という昆虫が産卵のため幹にもぐりこみ、一緒に運び込まれたナラ菌が繁殖することによって木が水を吸えなくなる伝染病です。

青森県内では令和2年度に急速に被害が拡大しました。そこで、令和3年度から青森県庁と当署が連携し、民有林と国有林で一体的に大量集積型おとり丸太法（以下「おとり丸太法」と略）を導入しました。

おとり丸太法では、ナラ類の丸太を20㎡ほど集積して、乾燥防止の遮光ネットを被せ、カシナガを誘引する合成集合フェロモン剤を設置します。カシナガを勘違いさせて生きた木を守るのです。カシナガが入った丸太は、成虫が飛び出す前に木質バイオマス発電施設で破碎・焼却し、殺虫されるとともに燃料として有効活用されています。



林内に設置されたおとり丸太

令和3年度は、当署管内の民有林と国有林で合計22箇所に設置したことにより、最大10,000本前後のナラ類の枯損を防止できたと推定され、令和4年度についても同様の取組を行いました。

このように、被害の抑制効果がみられることから、東北森林管理局管内では令和4年度に引き続き令和5年度も、当署のほか3（支）署でおとり丸太法に取り組むこととしています。

山形蔵王・森林生態系の保護管理活動

山形

山形森林管理署

国有林では、来訪者が集中し植生の荒廃等が懸念される区域で、「グリーン・サポート・スタッフ（GSS：森林保護員）」による貴重な森林生態系の保護管理に取り組んでいます。

当署が管理する蔵王の国有林では、今年も6月から10月まで、2名のGSSが活動を展開します。蔵王は、オオシラビソが群生する樹氷原があるほか、コマクサ、リンドウ等数多くの植物、カモシカやツキノワグマ、サルといった動物が生育・生息しています。一方で、ロープウェイや道路が整備されアクセスが容易でもあり、森林生態系を損ねない適正な利用が特に求められる地域です。

GSSは、巡視を行いながら、マナーを記したチラシを来訪者に配布し、登山道から逸脱して植物の生息域に立ち入っている方に戻るように促したり、傾いた標識を直したりしています。ときには、雷雲発生の注意を呼びかけたり、地理に不案内な方を誘導したりすることもあります。



風で倒れた標柱の建て直し

今後も、多くの方に蔵王の国有林で、ゆたかな自然に快適にふれあっていただけるよう、様々な活動を展開していきます。

当署ホームページには、これまでの活動状況、多くの草花などの写真を掲載しています。ぜひご覧になってください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/yamagata/index.html>



東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

岩手山カラマツ（高齢級）の販売戦略

岩手

岩手北部森林管理署

近年、集成材の利用が広まり高い強度をもつカラマツ材への需要が増えています。岩手山の北東部には、樹齢100年を超える高齢級のカラマツ林があり、令和4年度にそのカラマツ林の間伐を実施しました。そして、間伐したカラマツを販売するにあたり、希少な高品質材の付加価値を高めて販売する取組を行いました。

取組としては、①八幡平市、岩手県森連等も参加して採材現地検討会を実施し、採材方法等の情報を共有するとともに、県内外の市場視察、業者への聞き取り調査しニーズを踏まえた採材の実行、②販売促進のため、地域ブランド「岩手山カラマツ」の名称を使用し、ホームページや木材業界紙への掲載、丸太木口にラベルを貼り視覚効果を向上させました。

業者から要望のあった3m・6m材に採材したところ、4万円/m²以上の単価で販売できたものもありました。課題としては、目周りや節などの



樹齢120年生 岩手山カラマツ

欠点を更に除去し、より付加価値を高めしていくことです。これからも木材業界紙への掲載や販売委託先と連携等を行い、積極的なPRと情報発信の多角化を図り、貴重な「岩手山カラマツ」の有効的な販売をしていきます。



丸太木口に貼付したラベル

特定外来生物 防除作戦

秋田

米代東部森林管理署上小阿仁支署

当支署管内の森吉山は、「花の百名山」としても知られ、初夏から秋にかけては約300種類の高山植物が咲き誇り、冬には、日本三大樹氷の一つに数えられる「森吉山の樹氷」が楽しめます。

しかし、平成23年頃から特定外来生物に指定されているオオハンゴンソウの群生が確認されています。オオハンゴンソウは、明治中期に観賞用として北米より導入された植物で、野生化したものが日本各地に拡大しました。繁殖力が強く、在来植物を駆逐してしまう恐れがあることから、周辺の生態系保全に対する影響が懸念されています。



オオハンゴンソウの花

当支署では、平成26年からNPO法人冒険の鍵クーン主催のオオハンゴンソウ防除事業に環境省、森吉山岳会及び一般参加者とともに参加してきました。今年度は8月期に森吉山野生鳥獣センター周辺において実施予定となっており、当支署からも若手職員を中心に参加を予定しております。



オオハンゴンソウの防除作業の様子

今後も関係機関と連携しながら森吉山麓の生態系の保全に向けた活動に取り組んでいきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

下刈の省力化～筋刈の導入～

青森

津軽森林管理署金木支署

東北森林管理局では、令和4年度を期首とする「筋刈導入3か年計画」を作成し、筋刈の導入・拡大による下刈の省力化に取り組んでいます。

これまでに、下刈実施の判断目安に基づく下刈回数の低減や作業期間の延長による軽労化などにも取り組んでいます。

下刈は夏季の作業であり労働負荷が大きく掛かっておりましたが、造林地内を筋状に刈払う筋刈を導入することで、従来の全面積を刈り払う全刈と比較すると約30%の省力化が期待できます。



ドローンで筋刈箇所（赤線部分）を撮影

当支署では、令和4年度より請負事業で筋刈を導入しており、下刈面積約103haに対し、筋刈面積約60ha（約60%）を実行しています。

請負者からは「ちごしらえ地拵・植付が整理され、スギ苗が均等に植栽されている箇所や緩斜面地の場合は労力が減り、作業期間が短縮できる。」「植栽後約3年以上経過しないとスギ苗が目立たないため、スギ苗を損傷させる可能性がある。」等の意見がありました。

今後は、下刈作業を省力化できる地拵・植付作業を実施することがより重要となるため、現地状況を把握し、請負事業者からの意見を参考に筋刈に適した箇所の選定方法等を検討していきます。

三次元レーザー計測器での新しい収穫調査

岩手

三陸北部森林管理署

林業の現場におけるICT等先端技術を活用した効率的な作業が求められるなか、今年度から三次元レーザー計測器「OWL（アウル）」が当署に配備となり、収穫調査※での使用方法の習熟と精度の検証に取り組んでいます。

OWLとは、レーザー照射により木の直径や樹高、本数などが計測できる機器で、職員が1本1本の木を調査するこれまでの手法に比べると、早く正確な調査ができることになっていますが、使用するのが山の中であり、地形や樹種等の違いなどから従来の調査との比較が必要と考えました。



OWLで調査している様子

その精度の検証にあたっては、ドローンによる画像から平均的な樹木密集箇所を検討し、OWLによる調査と同じ個所での従来の調査を行い、データを比較、検証を行う少々手間のかかる調査により行っています。

現在、比較的傾斜の緩やかな箇所にて3回調査した結果では、樹高はほぼ誤差が無く、材積（数量）は±5%前後の良好な結果となっています。

今後は、さらに急傾斜地や管内の主要樹種であるアカマツ・カラマツ林など様々な要件によって、どのようなデータの違いがあるかさらに検証をし、効率的な収穫調査を実現していきます。

※立木を伐採又は売り払う際に行う基礎的な調査で、伐採・売払いの対象となる立木を選定するとともに、その樹種、材積、材質、伐採する区域の面積などを調査する。調査の結果は、立木を売り払う際の予定価格の算定等に使用されるため、正確で公正な調査が求められる。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

青森

ひがし つがる くん ひら ない まち
青森県東津軽郡平内町

青森森林管理署

平内町は青森県のほぼ中心部に位置し、名所や観光スポットが多くあり、一年を通してレジャーを楽しむことができます。その中でも椿山は、「ツバキ自生北限地帯」として国の天然記念物に指定されており、4月下旬から5月下旬にかけて約1万数千本のヤブツバキの花を見ることができます。海岸沿いの



椿山のヤブツバキ (写真提供: 平内町)

の椿山海岸は、「日本の渚百選」にも登録されており、時期には凩と咲く紅色のツバキと青く澄み渡った陸奥湾の

コラボレーションを堪能することができます。

夏泊半島・大島は岩場の海岸で、島には夏泊崎の突端から渡り橋が架かっており、満潮でも渡れるようになっています。島の周囲を取り囲む海は圧倒的な透明度を誇っており、綺麗なエメラルドグリーンをしています。また島の突端に灯台があり、陸奥湾全体を一望することができ、夕日が水平線に沈む様子は時間を忘れてしまうほどに人々を魅了します。



夏泊半島から望む大島 (写真提供: 平内町)

よこしやま
夜越山森林公園内には多くの施設があり、パークゴルフやキャンプ、スキーや温泉を楽しむことができます。特に、公園にあるサボテン園と洋ラン園では約3,000種あまりのサボテンや多肉植物のほか、約150種にも及ぶ洋ランを一年中鑑賞することができます。さらに、春はライトアップされた夜桜を見ることができ季節ごとの違った一面で来場者を楽しませます。



夜越山森林公園 サボテン園・洋ラン園 (写真提供: 平内町)

平内町は養殖ホタテの生産量日本一を誇る町です。平内町にはホタテに関する施設があり、その中でもほたて広場では生け簀に入ったホタテや陸奥湾に生息する魚たちを観察したり、陸奥湾のホタテの歴史や漁業について詳しく学んだりすることができます。また、隣接する「ひらないまるごとグルメ館」では陸奥湾の豊富な栄養を取り込み肉厚かつ旨みたっぷりの多彩なホタテグルメを楽しむことができます。グルメ館の名物で、生乳にほたてエキスをブレンドした「ほたてソフトクリーム」もあるので、是非食べてほしい逸品です。



ほたて広場 (写真提供: 公益社団法人青森県観光国際交流機構)

お問合せ先: 平内町水産商工観光課 Tel.017-755-2118

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

秋田



秋田県大仙市

秋田森林管理署

大仙市は、1市6町1村の合併によって平成17年に誕生した市です。秋田県のほぼ中央に位置し、古くから交通の要衝として栄えてきました。現在も秋田新幹線や秋田自動車道をはじめ主要な交通機関が集積し、各地からのアクセスは良好です。広大な市域には名所、名物が多く、多彩な観光資源に富んでいます。

ほったの さくあと
弘田柵跡は平安時代の城柵遺跡で、秋田県で最初に国指定史跡となりました。総面積が87ヘクタールを超え、その広大な敷地では夏と冬に祭りも開催されます。弘田柵跡に関しては、史資料に記載がなく、現在も学術調査が続けられているものの、解明されていないことも多いようです。今なお謎多き遺跡として歴史ロマンが感じられます。

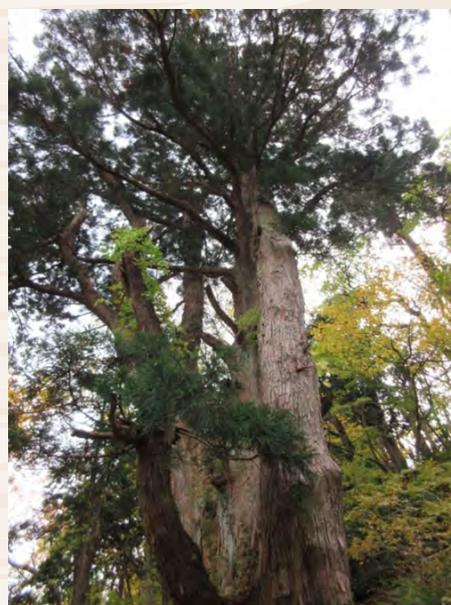


弘田柵跡

まぎ まひる
川口溪谷は真木真昼県立自然公園内にあり、新緑や紅葉など四季折々の素晴らしい景観を目にすることができます。遊歩道が整備されているので、ゆっくり散策しながら森林浴や紅葉狩りを楽しめます。遊歩道を少し外れると「オブ山の杉」を見ることができます。県下一の幹周り（12.4m）を誇り、「林野庁の森の巨人たち百選」に選定されています。



川口溪谷の遊歩道



オブ山の杉

大仙市を紹介するにあたり、大曲の花火を欠かすわけにはいきません。毎年8月に開催される全国花火競技大会「大曲の花火」は、美しさと迫力で全国にその名をとどろかせています。また、一年を通して市内各所で花火大会が

催され、「毎月花火が打ち上がるまち」として楽しませてくれます。

ほかにも温泉、地酒、おいしいお米などがあり、きっと誰もが魅了されることでしょう。



全国花火競技大会（第90回大会提供）

お問合せ先：大仙市観光交流課 Tel.0187-63-1111

1. はじめに

新たな「森林・林業基本計画」では、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げており、この「グリーン成長」の5つの柱の施策の一つに「新しい林業」に向けた取組の展開があります。

この取組では、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を目的として、林業従事者の所得と労働安全の向上を図りつつ「長期にわたる持続的な経営」に取り組むこととしており、再造林の確実な実施に向けた造林コストの縮減が重要な課題の一つとされています。

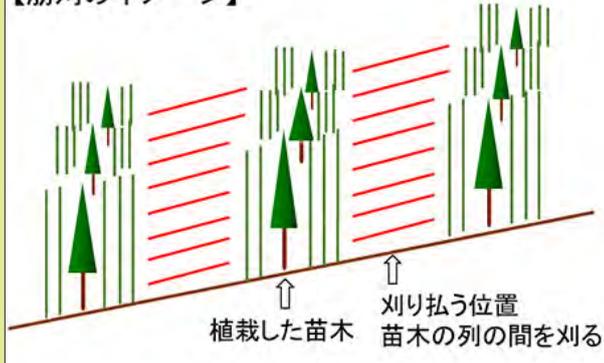
2. 下刈の低コスト化への取組

これまで東北森林管理局では、造林コストの縮減に向けて、大苗植栽や下刈回数の低減、作業期間の延長による軽労化等、下刈の低コスト化のための取組を進めてまいりました。

さらに、令和4年度からは、これらに加えて新たな取組として筋刈を導入しております。

従来の下刈においては、刈払面積を全て刈払う全刈により行っていましたが、筋刈では、植栽した造林木の間を刈払う列の間を刈るため、刈払面積がこれまでの70%程度となり、haあたりの下刈単価の縮減が可能となります。また、筋刈では、植栽した造林木を誤って刈払うリスクを低減できることから、下刈り作業の効率化も期待できます。

【筋刈のイメージ】



当局では、令和4年度は712haの下刈面積を筋刈にて実施しており、令和5年度は全下刈面積の25%以上となる1,375haを実施予定としています。



筋刈作業事業地（盛岡森林管理署）

3. 筋刈の今後の展望

筋刈の導入については、令和4年度を期首として「筋刈導入3カ年計画」を策定し、令和7年度に筋刈による実施を標準とすることとしています。

また近年、造林分野においても大型の多目的造林機械の開発・普及が進んでいることから、筋刈（列間刈）作業においても、これら機械の導入が期待できます。当局においては、植栽間隔を多目的造林機械に合わせて植栽を行う等、さらなる造林の低コスト化に向けて検討を進めてまいります。



多目的造林機械による下刈作業
下刈現地検討会（三八上北森林管理署）

自治体等職員が参加できる
研修のお知らせ

東北森林管理局では、国有林野事業を適切かつ効率的に管理経営するために必要な知識、技術、技能の取得等を目的とした職員研修を実施しており、この研修に各県及び市町村の林務担当職員等の皆様にも参加いただいているところです。

なお、自治体の職員の皆様に参加いただける令和5年度の研修は次の4研修となります。



令和4年度ドローン技術研修の様子

- 基礎研修B（森林の育成） 7/11～7/14
造林・育成に関する基礎知識・技術の習得
- ドローン技術研修 9/13～9/15
ドローンを活用した森林情報収集及び取得したデータの活用の習得
- フォレスターフォローアップ研修 10/25～10/27
フォレスターに必要な知識・技術の習得
- 基礎全般研修（後期） 12/5～12/8
森林管理に関する基礎的知識・技術の習得



令和4年度フォレスター研修の様子

研修に参加を希望される自治体等職員の方は、東北森林管理局総務課(TEL:018-836-2173)へお問合せ下さい。

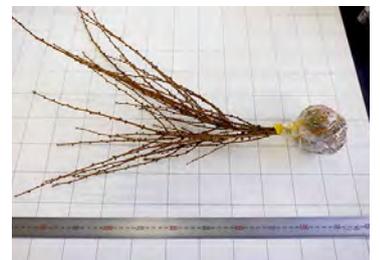
効率的な原種増産に向けた
カラマツつぎ木技術の開発

1. はじめに

東北育種場では、成長や材質の優れたカラマツ第二世代精英樹（エリートツリー）の選抜を進めており、その中から基準を満たした系統は特定母樹に申請しています。このようなエリートツリーや特定母樹は、都道府県等が管理する採種園へ導入されつつあり、今後そこから造林用の種子が生産されることとなります。

2. つぎ木増殖

カラマツでは、採種園へ導入される原種苗木はつぎ木で増殖されます。つぎ木に用いる穂木は冬期に採取して冷蔵庫で保存し、翌年の春につぎ木を行います。通常、穂木を採取する際には、切断面からの乾燥を防ぐため、実際につぎ木に使用する穂木よりも長い枝を採取し、切断面に水苔をつけて保存しています。しかし、エリートツリーや特定母樹は、選抜されてから日が浅く、穂木を採取するための台木がまだ小さいため長い枝を採取できません。そこで東北育種場では、短い穂木でも貯蔵が可能な方法を検討しています。



通常の貯蔵方法



パラフィンでコーティングした穂木

3. 貯蔵方法の検討

東北育種場では、穂木をパラフィンでコーティングする方法と雪で埋蔵する方法を検討しました。翌春に通常の方法で保存した穂木も含め、つぎ木を行い、活着率や成長を調査した結果、試験した3つの貯蔵方法の間で活着率や活着後の成長に差がありませんでした。詳細な結果は、現在手引書を作成中です。そちらをご覧ください。

ご関心のある方は、森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場(TEL:019-688-4518)へお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

魅力あふれる森林土木の仕事

秋田

秋田林業土木協会

羽陽建設株式会社 土木部係長 鈴木 秋智さん

私は、平成29年に入社し、現在7年目を迎えました。仕事の内容は、発注者との打ち合わせ、測量作業、建設機械の運転手や現場作業員とのスケジュール調整、使用する材料の品質チェックや数量確認、工事期間中の安全対策を行う施工管理をしています。自然の中でスケールの大きな工事を完成させた時の達成感は大きく、また、何もなかった所から形にしていき、それが最終的に地図に残る、とてもやりがいを感じる仕事です。

これまでに林道工事や地すべり防止工事等の森林土木工事に携わり、毎日、森林の中で四季折々の自然を感じながら楽しく仕事をしており、それが森林土木工事の魅力だとも思っています。山間での作業は、気候の変化が早く、穏やかな日々だけではありませんが、工事が始まる春は、桜の風景で癒されながら測量し、夏は、涼しい風を感じ作業する。そして秋は、紅葉の景色に触れながら、完成を迎えられます。時には平地での仕事もありますが、このような自然豊かな作業環境もとても魅力的な仕事だと実感しています。

まだまだ覚えることが多く勉強中ではありますが、貴重な森林資源を次世代に繋げていくために、魅力あふれた森林土木工事を通して地域に貢献できる仕事を一緒にしていきましょう！



木はトモダチ

日々フィトンチッドを浴びながら

秋田

米代東部森林管理署 花輪森林事務所

地域統括森林官 佐藤 博志さん

当事務所は、青森県、岩手県に接する秋田県北部の鹿角市に位置しています。

管内の国有林には十和田八幡平国立公園が含まれています。公園の中でも日本百名山の八幡平は、山頂付近まで山岳道路の八幡平アスピーテラインが通っており、山頂、高山植物、春の雪の回廊等、観光スポットまでアクセスが良く入山者も多数あります。そのため高山植物の盗掘防止のパトロールや、山火事防止のパトロール等関係機関と連携を図りながら行い、かけがえのない自然を守るとともに、入山者や地域住民の安全を守っています。



高山植物盗掘防止パトロールの様子

月日が経つのは早いもので、東北森林管理局に勤務して約40年になり、今まで主に森林づくりの現場に携わってきました。今は森林官として現地確認や監督業務等、フィトンチッド※を浴びながら日々現場業務を行っています。

転勤を伴う仕事ですが、自分が知らない土地でその土地特有の歴史や食文化に触れ、様々な自然を体験できる職場です。皆さんも、四季を感じられる職場で木々の生長を見ながら働いてみませんか。

※樹木の幹や葉などから発散される菌を殺す成分の香りで、リフレッシュ、消臭・脱臭・抗菌・防虫などの効用がある。

6月中旬

第42回^{もり}森林の市inAKITA

6月10日(土)
親子木工工作コーナー、ブルーベリーの苗木のプレゼントも
(秋田県/森林の市inAkita実行委員会)

春の白神ウィーク2023

6月10日(土)～6月18日(日)
新たなシンボル「岳岱大ブナ」への道オープン記念イベントなど
(秋田県/藤里町商工観光課)

第38回小坂町アカシアまつり

6月10日(土)～6月11日(日)
群生しているアカシアの花をテーマとした町民手作りの祭り
(秋田県/小坂町)

うめ～梅まつりin道の駅かくだ

6月10日(土)～6月11日(日)
角田産の「もぎたて梅」を、地元の生産者が特別価格で販売
(宮城県/角田市商工観光課)

第30回みやぎ川崎支倉常長まつり

6月11日(日)
支倉常長公の偉大さと故郷「かわさき」との歴史を語り継ぐ祭り
(宮城県/川崎町支倉常長まつり実行委員会)

めざせ！蔵王マイスター①

6月11日(日)
18歳以上の登山初心者を対象とした講習会と登山
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

東北絆まつり2023青森

6月17日(土)～6月18日(日)
東北6市の夏祭りが一堂に集結！各地のお祭りを見て楽しもう！
(青森県/東北絆まつり実行委員会外)

第13回陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭

6月18日(日)
陸奥湾の海を守るため、総勢100人を超える参加者で植樹
(青森県/NPO法人白神山地を守る会)

6月中旬～下旬

残雪の裏岩手連峰開山祭

6月18日(日)
残雪の裏岩手連峰、新緑の松川渓谷と秘湯巡りを満喫
(岩手県/八幡平市・八幡平市観光協会)

蔵王に登ろう！山ガール教室①

6月18日(日)
自然の美しさや環境に触れ、登山の楽しさを味わいましょう！
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

日本国花苑 バラ園

6月上旬～下旬(花の見頃)
約300種1,200本の多種多様なバラが色鮮やかに咲き誇る
(秋田県/井川町)

バラまつり2023

6月2日(金)～6月30日(金)
期間中はワークショップやバラの育て方教室などを開催
(山形県/東沢バラ園)

あやめ公園 あやめまつり

6月10日(土)～7月5日(水)
全国的に貴重な「長井古種」をはじめ、数百種の花菖蒲が楽しめる
(山形県/長井市観光協会)

花菖蒲祭り

6月17日(土)～7月9日(日)
約3,000坪の敷地に500種20万株の花菖蒲が咲き誇る
(青森県/手づくり村鯉艸郷)

鳥海山湯ノ台口山開きと鳥海登山

6月24日(土)
鳥海山の南玄関「湯ノ台登山口」の山開き、記念登山が行われる
(山形県/酒田市八幡総合支所地域振興課)

世界谷地原生花園

6月下旬(花の見頃)
6月下旬に咲くニッコウキスゲの大群生は全国的に有名
(宮城県/栗原市)

6月下旬～7月上旬

毛越寺あやめ祭り

6月20日(火)～7月10日(月)
約30アールのあやめ園に、300種、3万株の花菖蒲が咲き誇る
(岩手県/毛越寺)

山野草展

6月30日(金)～7月2日(日)
山野草の魅力をアピール、山野草の展示・一部即売
(宮城県/道の駅「村田」物産交流センター)

岩手山山開き

7月1日(土)
岩手県の最高峰(標高2,038m)、山開きはセシモニーを開催
(岩手県/盛岡市・滝沢市・八幡平市・雫石町)

天台寺あじさい祭り

7月1日(土)
瀬戸内寂聴さんが京都から株分けし住民が育ててきたあじさい
(岩手県/天台寺あじさい祭り実行委員会)

鳥海山夏山開き

7月1日(土)
鳥海山大物忌神社本殿で神事が行われ山の安全が祈願される
(山形県/遊佐町)

月山山開き

7月1日(土)
出羽三山の主峰、月山の山開き行事が行われる
(山形県/鶴岡市)

予告

山の日記念
親子森林教室

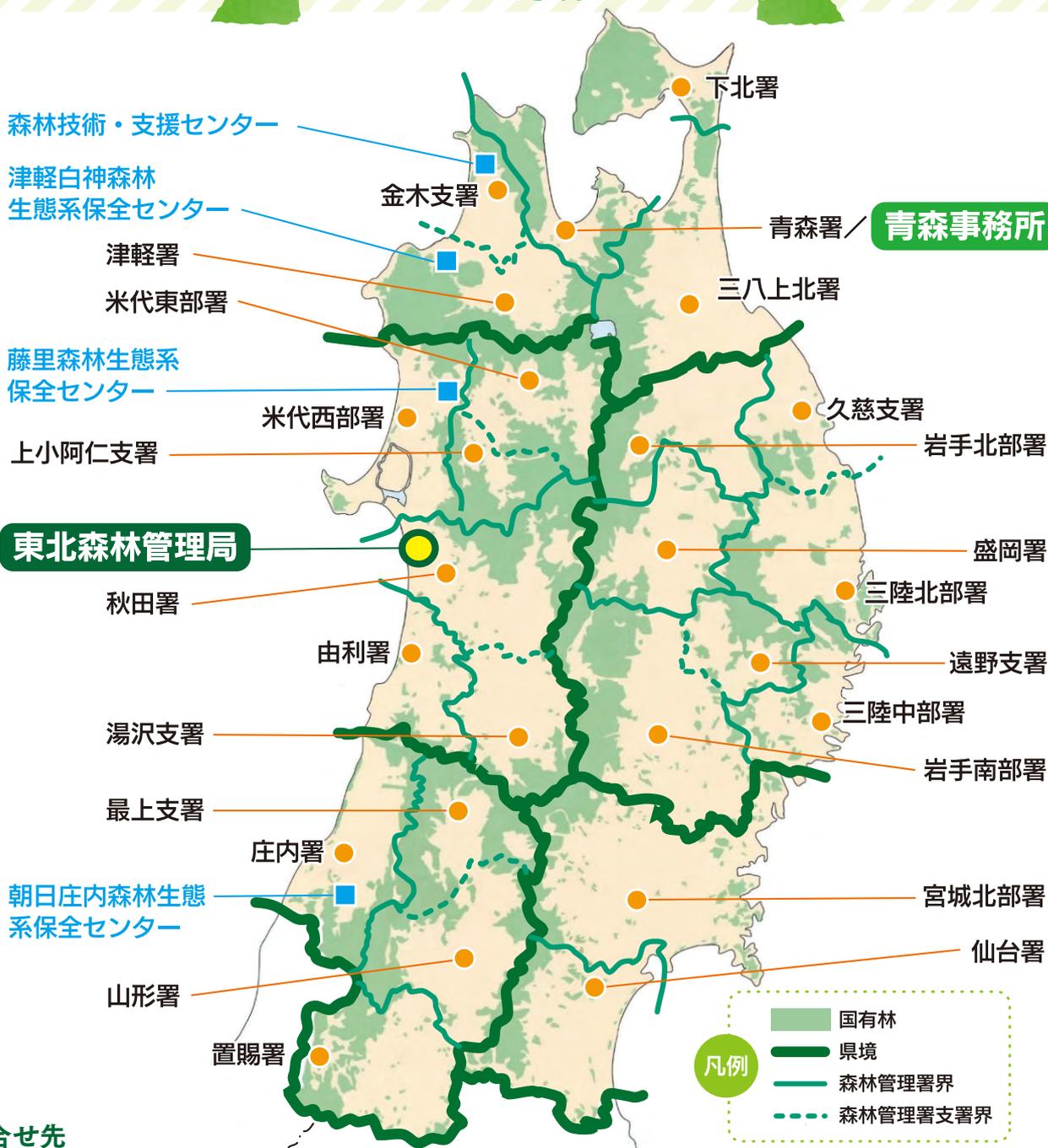
7月29日(土)

仁別森林博物館、仁別国民の森で行う親子森林教室(森林散策、木工製作など)の参加者を募集します。詳細は東北森林管理局HPに7月上旬掲載予定です。
(秋田県/東北森林管理局)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
岩手県	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311	山形県	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164		最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730	
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331				
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161				
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122				
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246				
岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131								
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670								

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.231 ●発行日/令和5年6月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。